投資者の皆さまへ

Monthly Fund Report

【ダイワファンドラップ セレクト・シリーズ】

ダイワファンドラップ 外国株式セレクト エマージングプラス

追加型投信／海外／株式

信託期間 ： 2007年11月1日 から 無期限　　基 準 日 ： 2024年2月29日

決算日 ： 毎年6月15日（休業日の場合翌営業日）　　回次コード ： 3783

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

≪基準価額・純資産の推移≫

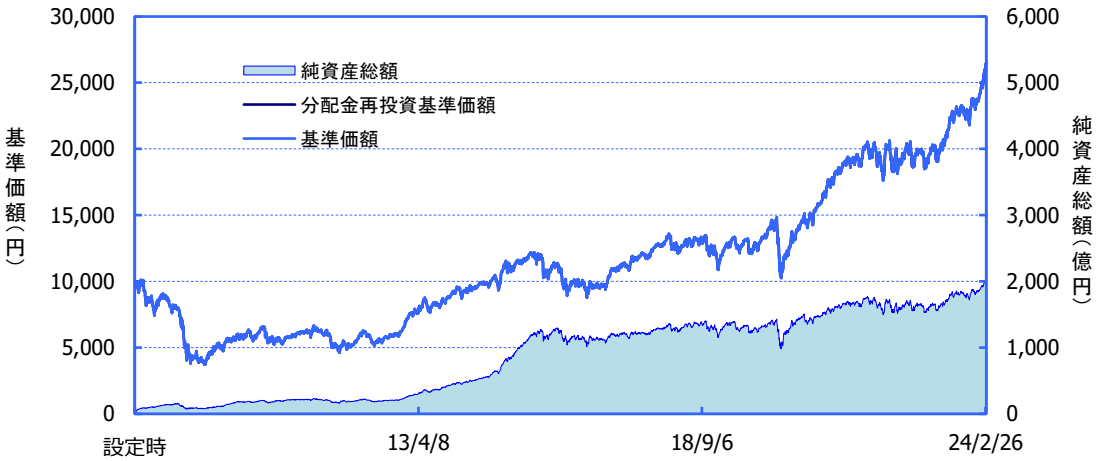
2024年2月29日現在

基準価額	26,433 円
純資産総額	2,024億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	+5.9 %
3カ月間	+12.8 %
6カ月間	+14.1 %
1年間	+32.6 %
3年間	+51.7 %
5年間	+107.8 %
年初来	+11.6 %
設定来	+164.3 %

当初設定日（2007年11月1日）～2024年2月29日



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

≪分配の推移≫

（1万口当たり、税引前）

決算期 （年/月）	分配金
第1～4期 合計：	0円
第5期 (12/06)	0円
第6期 (13/06)	0円
第7期 (14/06)	0円
第8期 (15/06)	0円
第9期 (16/06)	0円
第10期 (17/06)	0円
第11期 (18/06)	0円
第12期 (19/06)	0円
第13期 (20/06)	0円
第14期 (21/06)	0円
第15期 (22/06)	0円
第16期 (23/06)	0円

分配金合計額 設定来： 0円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

≪主要な資産の状況≫

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入ファンド　※運用会社名およびファンド名の正式名称は、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

比率	運用会社名	ファンド名	騰落率 1カ月間	3カ月間	6カ月間
9.1%	グローバル X マネジメント・カンパニー・エルエルシー	グローバルX ESG 経営企業 ETF（米国籍、米ドル建）	+4.1%	+13.5%	+15.4%
8.9%	フランクリン・テンプルトン・ジャパン	フランクリン・グローバル株式ファンド	+6.8%	+16.5%	+20.1%
8.2%	ティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッド	グローバル・フォーカス・グロース・エクイティ・ファンド クラスI（円建）	+7.3%	+14.4%	+18.6%
8.1%	キャピタル・リサーチ・アンド・マネジメント・カンパニー	ｷｬﾋﾟﾀﾙ・ｸﾞﾙｰﾌﾟ・ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ﾆｭｰﾊﾟｰｽﾍﾟｸﾃｨﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ(LUX)ｸﾗｽP(円建)	+6.0%	+13.9%	+14.8%
7.9%	アムンディ・ジャパン	アムンディ・米国大型株コア戦略ファンド	+4.3%	+16.9%	+19.7%
7.0%	ニッセイアセットマネジメント	ニッセイ／インターミード・グローバル株式ファンド	+4.2%	+10.7%	+10.8%
6.3%	UBSアセット・マネジメント	UBSグローバル・オポチュニティー（除く日本）株式ファンド	+4.3%	+10.6%	+13.0%
5.6%	FILファンド・マネジメント・リミテッド（バミューダ）	ﾌｨﾃﾞﾘﾃｨ・ﾌｧﾝｽﾞｰｲﾝｽﾃｨﾃｭｰｼｮﾅﾙ・ｴﾏｰｼﾞﾝｸﾞ・ﾏｰｹｯﾂ・ｴｸｲﾃｨ・ﾌｧﾝﾄﾞ	+5.9%	+8.9%	+7.6%
5.5%	ニッセイアセットマネジメント	ニッセイ／サンダース・グローバルバリュー株式ファンド	+4.8%	+12.0%	+14.1%
5.1%	大和アセットマネジメント	ダイワ／GQGグローバル・エクイティ	+10.7%	+23.5%	+28.4%
5.0%	ニューメリック・インベスターズ・エルエルシー	マン・ニューメリック・エマージング・マーケッツ・エクイティ クラスI	+8.9%	+10.8%	+12.0%
4.6%	大和アセットマネジメント	ダイワ／ウエリントン新興国EX戦略株式	+6.1%	+3.5%	+3.7%
4.1%	りそなアセットマネジメント	グローバル厳選株式ファンド	+7.5%	+18.5%	+17.6%
3.9%	大和アセットマネジメント	ダイワ／ウエリントン・デュラブル・カンパニーズ戦略ファンド	+5.6%	+10.7%	+12.2%
3.6%	バリューパートナーズ香港リミテッド	バリューパートナーズ高配当株式ファンド	+7.5%	+7.9%	+3.9%
2.4%	ニッセイアセットマネジメント	ニッセイ／アリアンツ・欧州グロース株式ファンド	+7.9%	+15.8%	+17.8%
2.3%	JPモルガン・アセット・マネジメント	GIM米国大型バリュー株式ファンド	+3.3%	+12.2%	+10.5%
1.5%	大和アセットマネジメント	ダイワ／ウエリントン欧州株ファンド	+2.9%	+5.6%	+7.4%

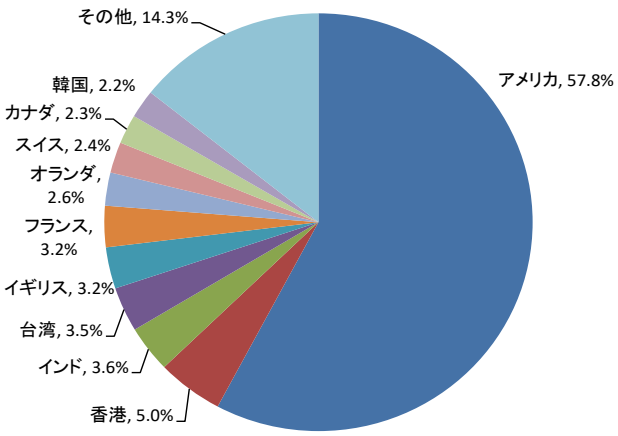
■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。当ファンドの取得をご希望の場合には投資信託説明書（交付目論見書）を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上ご自身でご判断ください。後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。

設定・運用：大和アセットマネジメント Daiwa Asset Management

商号等　大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第352号

加入協会　一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

国・地域別配分比率（2024年1月末）



※比率は株式ポートフォリオに対するものです。
※比率の合計が四捨五入の関係で100%にならないことがあります。

（出所）大和ファンド・コンサルティング

≪ファンドマネージャーのコメント≫

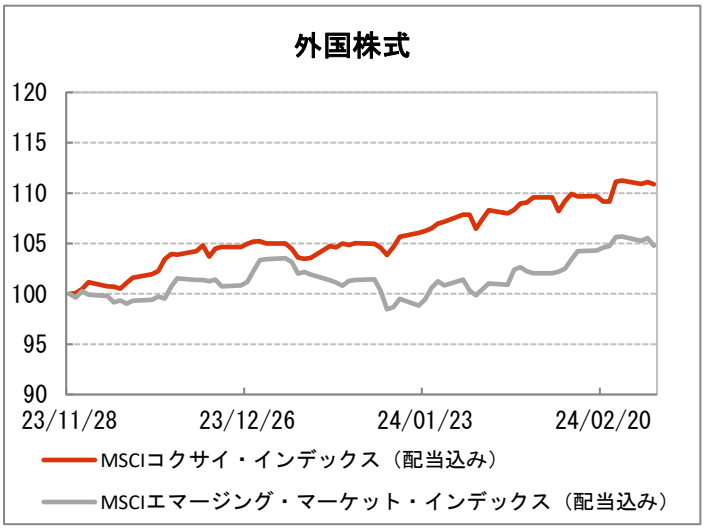
※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

【市況概況】

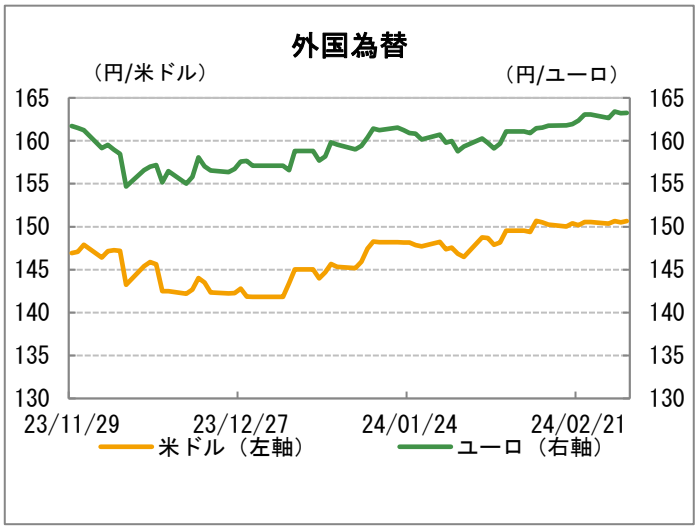
2月のMSCIコクサイ・インデックス（配当込み、現地通貨建）は3.0%の上昇、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、現地通貨建）は4.1%の上昇となりました（円建てはそれぞれ、5.1%上昇、6.1%上昇）（注）。

先進国株式市場では、欧米株式はともに上昇しました。月前半は米国の1月の消費者物価指数の上振れや米半導体大手の決算を控えた動きで下落する場面もありましたが、影響は一時的で、米経済のソフトランディング期待や米企業の好決算により米国株が上昇すると欧州株もそれに追随する形で上昇しました。月後半に入り、米半導体大手の予想を大きく上回る決算が発表されると、上昇に弾みが付きました。
業種別では、一般消費財・サービスや資本財・サービスなどが上昇しました。
2月の外国為替市場は、対円で米ドル、ユーロともに上昇（円安）しました。
為替市場では、米ドルは、米国金利の上昇を背景に日米金利差の拡大が意識され、円安米ドル高が進行しました。また、日銀の副総裁がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を維持する見通しと発言したことも、円安材料となりました。
ユーロにおいては、ユーロ圏の経済指標やインフレ指標が一部の国で市場予想を上振れたことで、金利上昇が進んだことから、円安ユーロ高となりました。
新興国通貨の多くは、対円で上昇しました。

(2023年11月28日～2024年2月27日)



(2023年11月29日～2024年2月28日)



※グラフの起点時を100として指数化

（出所）ブルームバーグより大和アセットマネジメント作成

【当月の運用方針】

当月は以下の方針で運用を行いました。

米国株式は、引き締め効果の顕在化とバリュエーションの高さが上値を抑えるものの、利下げ見通しがより鮮明となれば上昇すると想定します。欧州株式は、日米に比べ景気の停滞が顕著であり、相対的に上値の重い展開を想定します。リスクのバランスに留意し安定的な運用を行う方針です。
指定投資信託証券の組入比率は、高位に維持します。
運用能力評価、投資効果分析等を踏まえ、それぞれの運用者の能力を効率良く活かしたファンド配分をめざします。

【ファンド配分】

組入比率の変更はありませんでした。

【運用コメント】

当月の基準価額騰落率は5.9%となりました。

純資産総額に対して約9%組み入れている「フランクリン・グローバル株式ファンド」、約8%組み入れている「グローバル・フォーカス・グロース・エクイティ・ファンド」、約5%組み入れている「ダイワ／GQGグローバル・エクイティ」などがプラス寄与しました。

指定投資信託証券の組み入れは、高位に維持しました。

【今後の運用方針】

米国株式は、引き締め効果の顕在化とバリュエーションの高さが上値を抑えるものの、利下げ期待が株価を下支えすると想定します。欧州株式は、景気の低迷が顕著ですが、バリュエーションの低さから下値も限られると想定します。リスクのバランスに留意し安定的な運用を行う方針です。
指定投資信託証券の組入比率は、高位に維持します。
運用能力評価、投資効果分析等を踏まえ、それぞれの運用者の能力を効率良く活かしたファンド配分をめざします。

（注）MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み）の騰落率は、大和ファンド・コンサルティングが独自に計算しています。外国株式については、前月の最終営業日の前々営業日から、当月の最終営業日の前々営業日までの期間について計測しています。

※MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。
〔 https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html 〕

≪大和ファンド・コンサルティングによるファンドの評価一覧≫　（出所）大和ファンド・コンサルティング

投資信託証券 運用会社名	大和ファンド・コンサルティングによるファンド評価
ニッセイ／アリアンツ・欧州グロース株式ファンド ニッセイアセットマネジメント株式会社	■ 企業の利益成長性を中長期的な視点で調査分析し、投資することでマーケットサイクル全体を通じて安定的に収益を獲得している。 ■ 企業のファンダメンタルズや、株価上昇余地を踏まえた適切なポートフォリオ運営がなされている。
UBSグローバル・オポチュニティー（除く日本）株式ファンド UBSアセット・マネジメント株式会社	■ 投資機会の魅力度に応じた、フレキシブルな投資戦略が展開されている。
ダイワ／ウエリントン・デュラブル・カンパニーズ戦略ファンド 大和アセットマネジメント株式会社	■市場で見過ごされがちな投資機会に着目し、的確な投資判断を行っている。安定した事業運営を続ける企業に投資しており、下値抵抗力が期待できる。
ニッセイ／インターミード・グローバル株式ファンド ニッセイアセットマネジメント株式会社	■一貫した投資方針の下、投資対象企業の利益成長の持続性を適切に見極めた投資判断が行われている。
フランクリン・グローバル株式ファンド フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社	■ 独自のモデルで投資機会を複眼的に分析し、分散の効いたポートフォリオを構築している。きめ細かい分析に基づきモデルの改善を積み重ねている。
GIM米国大型バリュー株式ファンド JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社	■ 長期業績予想の活用によりバリュートラップを回避しつつ、ミスプライスをきめ細かくとらえている。明確な投資判断基準を持ち、堅固なストーリーを構築した上で、的確に銘柄選択を行っている。
ダイワ／ウエリントン欧州株ファンド 大和アセットマネジメント株式会社	■3つのLow基準（低評価、低期待、低株価）と企業の財務力分析を組み合わせた明確な銘柄選定基準を用いて、市況が混乱する中でも的確な銘柄選択を行っている。
ダイワ／GQGグローバル・エクイティ 大和アセットマネジメント株式会社	■ 持続的な利益成長が見込める中長期クオリティグロース銘柄に投資し、環境変化に機動的な銘柄入れ替えで対応することで安定的な超過収益の獲得が期待される。
ダイワ／ウエリントン新興国EX戦略株式 大和アセットマネジメント株式会社	■ トップダウンのテーマ分析と、充実したアナリスト体制での質の高い調査情報により、銘柄選択に強みのある運用が行われており、リターンの獲得が期待できる。
ニッセイ／サンダース・グローバルバリュー株式ファンド ニッセイアセットマネジメント株式会社	■ 割安株投資に関する長年の運用経験を活かした銘柄選択を行っており、安定したリターンの獲得が期待できる。
グローバル厳選株式ファンド りそなアセットマネジメント株式会社	■ 長期にわたる持続的な競争優位性を有する企業を厳選して投資を行っており、リターンの獲得が期待できる。
アムンディ・米国大型株コア戦略ファンド アムンディ・ジャパン株式会社	■ セクターやファクター等特定のリスクは抑制しながら、複数シナリオで株価を予測し確信度が高い銘柄を適切に見極めた投資判断を行い、安定的な超過収益の獲得につながっている。
バリューパートナーズ高配当株式ファンド バリューパートナーズ香港リミテッド	■ 明確かつ一貫した投資哲学の下、割安な投資機会を発掘し、ポートフォリオを構築している。
フィデリティ・ファンズ-インスティテューショナル・エマージング・マーケッツ・エクイティ・ファンド FILファンド・マネジメント・リミテッド（バミューダ）	■ 質の高い成長機会を発掘し、競争環境や産業構造の変化にも配慮したポートフォリオ構築が実践されている。
マン・ニューメリック・エマージング・マーケッツ・エクイティ ニューメリック・インベスターズ・エルエルシー	■ 株価がオーバーシュートしやすい新興国株式市場において、合理的なモデルできめ細かく収益機会をとらえていることから、安定的に超過収益を獲得している。
グローバル・フォーカス・グロース・エクイティ・ファンド ティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッド	■ グローバルの広範なリサーチ体制がもたらす情報をもとに、個別銘柄の成長性とバリュエーションの妥当性を的確に判断している。

※投資信託証券および運用会社名の正式名称は、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

≪大和ファンド・コンサルティングによるファンドの評価一覧≫　（出所）大和ファンド・コンサルティング

投資信託証券 運用会社名	大和ファンド・コンサルティングによるファンド評価
キャピタル・グループ・グローバル・ニューパースペクティブ・ファンド キャピタル・リサーチ・アンド・マネジメント・カンパニー	■ 複数のポートフォリオ・マネジャーの運用スタイルの分散や銘柄選択に加え、アナリストの調査体制の厚みや分散されたアイデアから成るリサーチ・ポートフォリオにより、安定的な収益獲得が期待できる。
グローバルX ESG 経営企業 ETF グローバルX マネジメント・カンパニー・エルエルシー	■ 明瞭で規律ある運用プロセスの下、効率的な運用が期待できる。

※投資信託証券および運用会社名の正式名称は、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。
ダイワファンドラップ日本株式セレクト：FW日本株式セレクト
ダイワファンドラップ外国株式セレクト：FW外国株式セレクト
ダイワファンドラップ外国株式セレクト エマージングプラス：FW外国株式EM+
ダイワファンドラップ日本債券セレクト：FW日本債券セレクト
ダイワファンドラップ外国債券セレクト：FW外国債券セレクト
ダイワファンドラップ外国債券セレクト エマージングプラス：FW外国債券EM+
ダイワファンドラップJ－ＲＥＩＴ セレクト：FW J-REITセレクト
ダイワファンドラップ外国ＲＥＩＴ セレクト：FW外国REITセレクト
ダイワファンドラップコモディティセレクト：FWコモディティセレクト
ダイワファンドラップヘッジファンドセレクト：FWヘッジFセレクト

≪ファンドの目的・特色≫

ファンドの目的

・海外の株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

・「ダイワファンドラップ セレクト・シリーズ」は、投資者と販売会社が締結する投資一任契約に基づいて、資産を管理する口座の資金を運用するためのファンドです。
「ダイワファンドラップ セレクト・シリーズ」の購入の申込みを行なう投資者は、販売会社と投資一任契約の資産を管理する口座に関する契約および投資一任契約を締結する必要があります。

・「ダイワファンドラップ セレクト・シリーズ」を構成する各ファンドは、投資対象が異なり、投資信託証券への投資を通じて実質的な運用を行ないます。

・指定投資信託証券の選定、組入比率の決定は、株式会社 大和ファンド・コンサルティングの助言を受け、これを行ないます。

・毎年６月 15 日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

≪投資リスク≫

●当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。**基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

株価 （価格変動リスク・信用リスク） 新興国	株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 新興国の証券市場は、先進国の証券市場に比べ、一般に市場規模や取引量が小さく、流動性が低いことにより本来想定される投資価値とは乖離した価格水準で取引される場合もあるなど、価格の変動性が大きくなる傾向が考えられます。
為替変動リスク 新興国	外貨建資産については、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 新興国の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。
カントリー・リスク 新興国	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。 新興国への投資には、先進国と比べて大きなカントリー・リスクが伴います。
その他	解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

●当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第 37 条の６の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

●当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付けが中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

≪ファンドの費用≫

投資者が直接的に負担する費用

	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 ※徴収している販売会社はありません。	—
信託財産留保額	ありません。	—

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

			料率等	費用の内容
運用管理費用(信託報酬)	FW日本株式セレクト		年率0.484% (税抜0.44%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
	配分(税抜)(注1)	委託会社	年率0.30%	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。
		販売会社	年率0.10%	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
		受託会社	年率0.04%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。
	投資対象とする投資信託証券			投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
			年率0.2541%(税抜0.231%)～年率0.902%(税抜0.82%)	
	実質的に負担する運用管理費用の概算値(2023年7月時点)		年率1.1057%(0.7381%～1.3860%)程度(税込)(実際の組入状況等により変動します。)	

<table>
<tr><th colspan="3"></th><th>料率等</th><th>費用の内容</th></tr>
<tr><td rowspan="16">運用管理費用(信託報酬)</td><td colspan="2">FW外国株式セレクト</td><td>年率0.484%
(税抜0.44%)</td><td>運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">配分
(税抜)
(注1)</td><td>委託会社</td><td>年率0.30%</td><td>ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。</td></tr>
<tr><td>販売会社</td><td>年率0.10%</td><td>運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。</td></tr>
<tr><td>受託会社</td><td>年率0.04%</td><td>運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">投資対象とする投資信託証券</td><td colspan="2">投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
年率0.43%～年率1.0681%
ただし、実績報酬制をとる投資対象ファンドの運用成果によっては、これを上回ることがあります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">実質的に負担する運用管理費用の概算値
(2023年7月時点)</td><td colspan="2">年率1.2180%(0.9140%～1.5521%)程度(税込)(実際の組入状況等により変動します。)</td></tr>
<tr><td colspan="2">FW外国株式EM+</td><td>年率0.484%
(税抜0.44%)</td><td>運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">配分
(税抜)
(注1)</td><td>委託会社</td><td>年率0.30%</td><td>ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。</td></tr>
<tr><td>販売会社</td><td>年率0.10%</td><td>運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。</td></tr>
<tr><td>受託会社</td><td>年率0.04%</td><td>運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">投資対象とする投資信託証券</td><td colspan="2">投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
年率0.43%～年率1.25%
ただし、実績報酬制をとる投資対象ファンドの運用成果によっては、これを上回ることがあります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">実質的に負担する運用管理費用の概算値
(2023年7月時点)</td><td colspan="2">年率1.3005%(0.9140%～1.7340%)程度(税込)(実際の組入状況等により変動します。)</td></tr>
<tr><td colspan="2">FW日本債券セレクト</td><td>年率0.484%
(税抜0.44%)以内</td><td>運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
運用管理費用(年率)は、下表〈A〉時点の新発10年固定利付国債利回りに応じて、下表〈B〉の期間において、純資産総額に対して以下の率とします。
新発10年固定利付国債利回りが
イ. 2%未満の場合 …… 年率0.242%(税抜0.22%)
ロ. 2%以上の場合 …… 年率0.484%(税抜0.44%)
<table><tr><th></th><th>〈A〉</th><th>〈B〉</th></tr><tr><td>①</td><td>前計算期末</td><td>毎計算期間の最初の6か月終了日(休業日の場合翌営業日)まで</td></tr><tr><td>②</td><td>毎計算期間の最初の6か月終了日(休業日の場合翌営業日)</td><td>毎計算期間の最初の6か月終了日(休業日の場合翌営業日)の翌日から毎計算期間末まで</td></tr></table></td></tr>
<tr><td colspan="2">委託会社</td><td rowspan="3">配分については、
下記参照</td><td>ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">販売会社</td><td>運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">受託会社</td><td>運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。</td></tr>
<tr><td colspan="4"><table><tr><th>〈運用管理費用の配分〉
(税抜)(注1)</th><th>委託会社</th><th>販売会社</th><th>受託会社</th></tr><tr><td>前イ. の場合</td><td>年率0.15%</td><td>年率0.05%</td><td>年率0.02%</td></tr><tr><td>前ロ. の場合</td><td>年率0.30%</td><td>年率0.10%</td><td>年率0.04%</td></tr></table></td></tr>
<tr><td colspan="2">投資対象とする投資信託証券</td><td colspan="2">投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
年率0.308%(税抜0.28%)～年率0.473%(税抜0.43%)
※投資対象ファンドにおける運用管理費用の上限を示しております。国債利回り水準等により変動する投資対象ファンドの運用管理費用は、これを下回ることがあります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">実質的に負担する運用管理費用の概算値
(2023年7月時点)</td><td colspan="2">新発10年固定利付国債利回りが
1%未満の場合　年率0.4709%(0.4400%～0.7150%)程度(税込)
1%以上2%未満の場合　年率0.5050%(0.4400%～0.7150%)程度(税込)
(実際の組入状況等により変動します。)</td></tr>
</table>

			料率等	費用の内容
運用管理費用(信託報酬)	FW外国債券セレクト		年率0.484% (税抜0.44%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
	配分(税抜)(注1)	委託会社	年率0.30%	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。
		販売会社	年率0.10%	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
		受託会社	年率0.04%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。
	投資対象とする投資信託証券			投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
			年率0.2981%(税抜0.271%)～年率0.60%+上限0.15%	
	実質的に負担する運用管理費用の概算値(2023年7月時点)		年率0.9807%(0.7821%～1.2340%)程度(税込)(実際の組入状況等により変動します。)	
	FW外国債券EM+		年率0.484% (税抜0.44%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
	配分(税抜)(注1)	委託会社	年率0.30%	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。
		販売会社	年率0.10%	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
		受託会社	年率0.04%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。
	投資対象とする投資信託証券			投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
			年率0.2981%(税抜0.271%)～年率0.60%+上限0.15%	
	実質的に負担する運用管理費用の概算値(2023年7月時点)		年率1.0063%(0.7821%～1.2340%)程度(税込)(実際の組入状況等により変動します。)	
	FW J-REITセレクト		年率0.374% (税抜0.34%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
	配分(税抜)(注1)	委託会社	年率0.245%	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。
		販売会社	年率0.075%	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
		受託会社	年率0.02%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。
	投資対象とする投資信託証券			投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
			年率0.33%(税抜0.30%)～年率0.6105%(税抜0.555%)	
	実質的に負担する運用管理費用の概算値(2023年7月時点)		年率0.7321%(0.7040%～0.9845%)程度(税込)(実際の組入状況等により変動します。)	
	FW外国REITセレクト		年率0.374% (税抜0.34%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
	配分(税抜)(注1)	委託会社	年率0.245%	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。
		販売会社	年率0.075%	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
		受託会社	年率0.02%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。
	投資対象とする投資信託証券			投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
			年率0.58%～年率0.605%(税抜0.55%)	
	実質的に負担する運用管理費用の概算値(2023年7月時点)		年率0.9785%(0.9540%～0.9790%)程度(税込)(実際の組入状況等により変動します。)	

			料率等	費用の内容
運用管理費用(信託報酬)	FWコモディティセレクト		年率0.374% (税抜0.34%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
		配分(税抜)(注1) 委託会社	年率0.245%	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。
		配分(税抜)(注1) 販売会社	年率0.075%	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
		配分(税抜)(注1) 受託会社	年率0.02%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。
		投資対象とする投資信託証券		投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
			年率0.242%(税抜0.22%)～年率1.00%	
		実質的に負担する運用管理費用の概算値(2023年7月時点)	年率1.3058%(0.6160%～1.3740%)程度(税込)(実際の組入状況等により変動します。)	
	FWヘッジFセレクト		年率0.484% (税抜0.44%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
		配分(税抜)(注1) 委託会社	年率0.30%	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。
		配分(税抜)(注1) 販売会社	年率0.10%	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
		配分(税抜)(注1) 受託会社	年率0.04%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。
		投資対象とする投資信託証券		投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
			年率0.2981%(税抜0.271%)～年率上限1.95% ただし、実績報酬制をとる投資対象ファンドの運用成果によっては、これを上回ることがあります。	
		実質的に負担する運用管理費用の概算値(2023年7月時点)	年率1.5302%(0.9821%～2.4340%)程度(税込)(実際の組入状況等により変動します。)	
その他の費用・手数料			(注2)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注1)「運用管理費用の配分」には、別途消費税率を乗じた額がかかります。
(注2)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
※運用管理費用の信託財産からの支払いは、毎計算期間の最初の6か月終了日(休業日の場合翌営業日)および毎計算期末または信託終了時に行なわれます。
※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

≪お申込みメモ≫

購入単位	最低単位を１円単位または１口単位として販売会社が定める単位
購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額（１万口当たり）
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払い下さい。
換金単位	最低単位を１口単位として販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額（１万口当たり）
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して６営業日目からお支払いします。
申込受付中止日	ニューヨークの銀行またはロンドンの銀行の休業日 （注）申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。
申込締切時間	午後３時まで（販売会社所定の事務手続きが完了したもの）
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込には制限があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入、換金の申込みの受付けを中止することがあります。
繰上償還	次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させること（繰上償還）ができます。 ・受益権の口数が 30 億口を下ることとなった場合 ・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
収益分配	年１回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。 （注）当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。なお、お取扱い可能なコースについては異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 ※税法が改正された場合等には変更される場合があります。

≪当資料のお取り扱いにおけるご注意≫

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- 分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ

▸ 大和アセットマネジメント　フリーダイヤル　0120-106212（営業日の 9:00～17:00）

当社ホームページ

▸ https://www.daiwa-am.co.jp/

取扱い販売会社

2024年2月29日　現在

ダイワファンドラップ 外国株式セレクト エマージングプラス

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○

上記の販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によって、新規のご購入の取扱いを行っていない場合や、お申込み方法・条件等が異なります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。